

シラバス: 科学技術と社会

1. コース概要

コース名: 科学技術と社会

科目コード: STS201

担当教員: ———

- メール: example@hs-univ.edu.jp
- オフィスアワー: 木曜日 14:00-16:00 (事前予約制)

コースの目的: 本コースは、学生が科学技術の進展が社会に与える影響について理解を深め、社会的な課題に対する科学的なアプローチを探求することを目的としています。科学技術の歴史、倫理、政策、そして未来の技術革新が社会に及ぼす影響について学びます。

2. 学習目標

学習成果:

- 科学技術の進展とその社会的影響を理解する。
 - 科学技術に関連する倫理的課題を評価する。
 - 科学技術政策の形成過程を理解する。
 - 科学技術の歴史的発展とその教訓を学ぶ。
 - 新しい技術の社会への導入における課題と機会を分析する。
-

3. コース構成

モジュールと単元:

- モジュール1: 科学技術の歴史
 - 1.1 古代から中世の技術
 - 1.2 産業革命と現代科学の誕生
- モジュール2: 科学技術と倫理
 - 2.1 科学技術の倫理的側面
 - 2.2 データプライバシーと倫理
- モジュール3: 科学技術政策
 - 3.1 政策形成のプロセス
 - 3.2 科学技術と公共政策
- モジュール4: 技術革新と社会
 - 4.1 新技術の社会的影響

- 4.2 未来技術の展望
- モジュール5: グローバルな視点での科学技術
 - 5.1 国際的な技術協力
 - 5.2 持続可能な技術開発

学習リソース:

- 教科書:『科学技術と社会の相互作用』(著者: ———)
 - 参考書:『技術革新と社会変動』(著者: ———)
 - オンラインリソース: 科学技術政策研究所のウェブサイト、主要な科学雑誌の論文
-

4. 授業計画と進行

スケジュール:

- 第1週: コースの導入と科学技術の歴史の概要
- 第2週: 古代から中世の技術の学習
- 第3週: 産業革命と現代科学の誕生
- 第4週: 科学技術の倫理的側面のディスカッション
- 第5週: データプライバシーと倫理
- 第6週: 科学技術政策の形成過程
- 第7週: 科学技術と公共政策の関係
- 第8週: 新技術の社会的影響
- 第9週: 未来技術の展望
- 第10週: 国際的な技術協力の事例
- 第11週: 持続可能な技術開発の実践例
- 第12週: プロジェクト発表とフィードバック

授業内容:

- 各週のテーマ:
 - イントロダクションと講義
 - グループディスカッション
 - 関連ビデオクリップの視聴
 - 実践的な演習と課題
-

5. 評価方法

評価基準:

- 試験: 30%(中間試験と期末試験)
- プロジェクト: 40%(グループプロジェクトと個人プロジェクト)
- レポート: 20%(指定されたテーマについてのレポート)
- ディスカッション参加: 10%(グループディスカッションとクラス参加)

具体的な基準:

- 試験: 知識の理解度と応用力
 - プロジェクト: 創造性、実践的な解決策の提案、チームワーク
 - レポート: 論理的な構成、分析の深さ、文献の活用
 - ディスカッション参加: 積極的な参加態度と貢献度
-

6. サポートとフィードバック

学生サポート:

- メンター制度: メンターによる個別指導とサポート
- オフィスアワー: 教員との個別相談(事前予約制)

技術サポート:

- オンラインツールガイド: オンライン学習プラットフォームの利用方法
 - 技術的なトラブルシューティング: 学習管理システム(LMS)のサポート
-

7. 利用上の注意事項

前提条件:

- 必要な前提知識: 基礎的な科学技術の知識
- 推奨される前提科目: 科学技術史、倫理学

準備事項:

- チェックリスト: 教材の購入、事前の学習、技術的な準備(アカウント作成、ソフトウェアのインストールなど)

学習の進め方:

- 時間管理のヒント: 週ごとの学習計画とタイムマネジメントのアドバイス
-

8. キャリア支援とコミュニティ

就職サポート:

- キャリアカウンセリング: 個別相談と履歴書作成支援
- ネットワーキングイベント: 業界専門家との交流イベント
- インターンシップ機会: 科学技術関連企業や研究機関でのインターンシップ紹介

アルムナイネットワーク:

- 卒業生ネットワーク: 活動紹介とメンタリングプログラム
- 定期的なイベント: 卒業生向けのセミナーやワークショップ